

文京区補助金等チェックシート（予算化・制度設計用）

所属 福祉部高齢福祉課認知症施策担当

問合せ先 03 - 5803 - 1821

1 補助金の名称等

7年度調査

補助金の名称	チームオレンジお助け隊事業補助金								
根拠規定等	チームオレンジお助け隊事業補助金交付要綱								
創設年月	令和	7	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	0年	終了予定年月	令和10年4月
見直し年月	令和		年		月	経過年数 〔自動計算〕			
見直しの内容									
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号			
	3地域支援事業費	2包括的支援事業・任意事業費	1包括的支援事業費	2認知症施策総合推進事業	1認知症施策総合推進事業	72			
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

2 補助金の概要

補助目的	認知症当事者の地域での就業活動を後押しすることで、区民や区内企業に対し、チームオレンジの取組や認知症にやさしいまちに係る普及啓発や理解の促進を図る。							
補助事業等の内容	シルバー人材センターにおいて、会員登録した認知症当事者が他の会員とともに地域で就業活動を行う場合に、必要な経費の一部を補助する。							
補助対象経費の内容	認知症当事者の就業活動に係る経費							
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	[特定の相手方に補助している場合は具体的に記入] 公益社団法人文京区シルバー人材センター							
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 { 補助率 } <input type="checkbox"/> 定額 { 補助額 }							
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助単価 { 補助単価 <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>①1,342円</td> <td>単位</td> <td>①時間</td> </tr> <tr> <td>②3,000円</td> <td></td> <td>②回</td> </tr> </table> <input type="checkbox"/> その他		①1,342円	単位	①時間	②3,000円		②回
	①1,342円	単位	①時間					
②3,000円		②回						
[その他の場合は具体的に記入] [定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入] ①認知症当事者会員の就業に係る経費 1,342円(報酬1,220円+事務費122円) ②他の会員による付添いに係る経費(リーダー手当) 3,000円								
公募の状況	支援対象者に対し、区報やホームページ、地域の関係機関から情報提供等を行う。							
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 { 活動報告書 }							
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)	負担割合 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>区</td> <td>国</td> <td>都</td> <td>10/10</td> </tr> </table> 補助対象者	区	国	都	10/10		
	区	国	都	10/10				
	上乗せの内容・理由							

3 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	認知症への理解や地域共生に係る啓発につながり、社会情勢や区民ニーズに適合している。
	「文の京」総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	「文の京」総合戦略や高齢者・介護保険事業計画に定める政策に適合している。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	認知症への理解や地域共生社会の実現を推進するため、区が補助すべき事業である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	認知症に優しいまちづくりを進めていくため、必要な事業である。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	-	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	-	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	都の補助事業の活用が可能であるため、補助金の交付による支援が妥当である。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	認知症当事者の生きがい創出等の他、地域社会への啓発効果が認められる。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	区民や区内企業等、地域社会全体への啓発が浸透することが期待される。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	法令等への抵触はない。
	事業の内容が補助目的と合致しているか	○	合致している。
	会計処理や補助金の使途が適正か	○	申請者からの交付申請書、活動報告書、実績報告書等を基に、適切に処理する。

4 交付実績

(件、千円)

項目	7年度(予算)			
交付(見込み)件数	768(時間)			
決算(予算)額	1,319			
国庫支出金	0			
都支出金	1,319			
その他	0			
一般財源	0			
年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)				

5 課題及び今後の方向性

シルバー人材センターとスキーム等について協議し、認知症当事者への案内・勧奨や区内事業所の開拓等を進める。令和7年度の実施状況を踏まえ、今後の事業展開を検討する。